

BRUTUS®

Casa

7

2016 vol.196
JULY
¥900

Utsuwa
Bath & Laundry
Mug Cup
Brush
Kitchen Tool
Storage
Glass
Gardening
Cutlery
Tote Bag



Lifestyle Shopping

ライフスタイル・ショッピング!



mingx

▶ by Konstantin Grcic
▶ driade

中国の伝統家具をグルッチさまが再解釈。本来は木で作られます特徴的なフレームを細い金属管にて製作。シックなカラーリングもシンプルながらも細部までこだわったフォルムも美しい。



Mokai

▶ by Sarah Böttger & Hanna Ernsting
▶ NODUS

違った形と素材を一緒に組み合わせるつう通常とは違った手法を使ってマオリ族の仮面をタペストリーに表現。ドイツ人デザイナーによります実験的作品らし。フォークロアなビジュアルといえども技術はハイテク。

グフラム50周年イベントで チャームロス対策。

と と言えます「チャームレスじゃやっぱ寂しい…」つうチャームファンにもお応えすべく今年最もチャーム度の高かったイベント、グフラムの50周年記念展示「Gufgram ON THE ROCKS」てのをコラムにてご紹介。`50 YEARS OF DESIGN AGAINST THE TIDE` つうアグレッシブなサブタイトルの通り、荒波に抗うテトラポッドのごとく世の潮流に対し不屈のチャームスピリットを貫き続けてきましたグフラムのヒストリカルコレクション。あの不朽の脱力アイテムたちが水色スポンジのポワポワ海原に漂いまくります社大なるパノラマティック展示でございました。ところでグフラムの今年の新作とは例えば、ポール・スミスさまとコラボ製作しましたレーンボーサボテン《PSYCHEDELIC CACTUS》てのがポール・スミスブティックにてお披露目されましたの。しかもついでにコラボしたと思われるサボテン柄のソックスやらシャツなんて、これまた見逃せないオトナ買い必至のアパレル土産なんてもフルラインアップにて一緒にワタクシを待っておりました…。

そもそも「チャーム」とはSWのフォーアのごとく脱力系インテリアから発せられます目に見えない魅惑エネルギー体のごと(長山定義)。「Gufgram ON THE ROCKS」展ではチャーム全開の逸品たちを過激シチュエーションにて大展開。ファン感涙のエキシションでございました。



CHIavarina

▶ by Matteo Thun
▶ Matteo Thun Atelier

スーパーレジャーの原型とも言われますイタリア職人の伝統のおイスをマッテオ・チュンさまがより軽快なデザインへとアップデート。座面はラタンとポリエステルからお選びいただけます。

TABLECROSS & Lace

▶ by Alexander Girard
▶ Vitra

ヴィトラのジラードさまコレクションに、テキスタイル&オブジェツのためにデザインしましたテーブルクロスのご復刻が仲間入り。グラフィックに南米民芸からのインスピレーションを感じますの。

FUSION

▶ by atelier oi
▶ DANESE

イタリア人デザイナー、アトリエ オイさまの邸草の和紙を使いました提灯照明。ニッポンデザインじゃあり得なそんなアシンメトリーな団子状インナーはさすがな外国人目線。まさにフュージョンでございます。

Tomomi Nagayama

インテリアスタイリスト。ポール・スミスブティックにて衝動買いましたサボテンアパレルを日本でどのよにご活用できるのかファッショセンスなきワタクシは大いに悩まし問題でございます。

「ホンモノは欲しけれどもはや天然モノじゃ物足りない」なんてな上級者にはビッタシのサード系デザインなのでございます。

